

## 第 6 回庄戸トンネル施工技術検討会

### 議事要旨

日時 : 令和 4 年 12 月 6 日 (火) 14 : 00~16 : 00

場所 : NEXCO 東日本 関東支社 横浜工事事務所

出席者 : 真下英人委員長、今田徹委員、西垣誠委員、砂金伸治委員、日下敦委員、  
中野清人委員

議題 : 第 5 回庄戸トンネル施工技術検討会で議論した全体施工計画に基づいた庄戸トンネル工事の施工状況について

議事要旨 : これまでの施工状況について説明を行い、下記の通り確認した。

#### 【分合流区間】

- ・上り線について、掘削の約 8 割が完了し、施工済み区間において地表面変位等に異常が発生していないことを確認した。
- ・今後、上り線において過去に例のない大断面での掘削となるが、切羽監視員の配置、鏡吹付の確実な施工を行うとともに、トンネル坑内変位や地表面変位等をより一層注視しながら、これまで同様、安全に十分配慮した施工管理を行うことが必要であることを確認した。

#### 【低土被り区間】

- ・上り線について、頂部導坑（側壁・中壁）の掘削の約 8 割が完了し、施工済み区間において地表面変位等に異常が発生していないことを確認した。
- ・今後、下り線の頂部導坑（側壁）の掘削時に最も住居に近接しての施工となるため、トンネル坑内変位や地表面変位等に注視し、騒音・振動についても細心の注意を払うとともに、沿線住民に対しての情報提供やコミュニケーションを図っていく必要があることを確認した。

#### 【まとめ】

- ・第 5 回検討会で議論された周辺地盤への影響に配慮するための全体施工計画に基づき、適切に施工が進められていることを確認した。
- ・庄戸地区内における地盤高及び地下水位について、工事影響による変動は見られないが、今後も測定を継続し注視していく必要があることを確認した。
- ・庄戸トンネルは全区間において住宅が近接していることから、沿線住民にヒアリングを実施しながら、作業内容の改善を図ることで騒音・振動の低減に努めていることを確認した。
- ・これらを踏まえ、周辺地域の安全・安心を高めるために、地表面変位等の計測結果を踏まえた施工管理や沿線住民へのヒアリングを継続する必要があることを確認した。

以上